

マンガで
わかる!

未来を支える

介護の仕事



もくじ

はじめに

- 自分の将来、そして日本の未来を考えよう……1
- 介護ってどんな仕事だろう？……2
- 超高齢社会化が進む日本……4

PART1

認知症の理解を深めよう

- 認知症って何？……6
- 認知症になるとどうなる？……8
- 認知症の人との接し方……10
- あなたができる支援……12
- PART1で知っておいてほしいこと……14

PART2

介護の仕事を知ろう

- 介護の仕事ってどんなもの？……16
- 介護の仕事をのぞいてみよう①～②……18
- 介護の現場で働いている人に聞いてみよう……22
- PART2で知っておいてほしいこと……24

PART3

介護の仕事に就くには

- 介護の仕事に就くにはどうするの？……26
- 介護職でのキャリアアップ……28
- 介護の仕事で活用できる資格の例……30
- PART3で知っておいてほしいこと……32

卷末 福岡県医師会からみなさんへのメッセージ

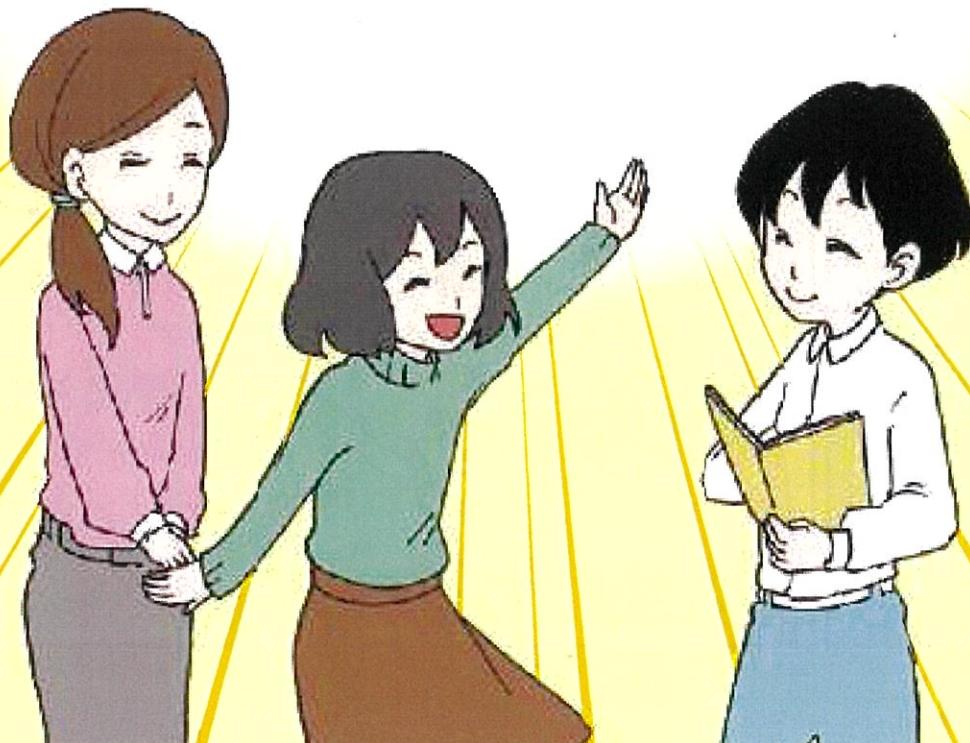
はじめに

自分の将来、 そして日本の未来を考えよう

現在、日本が抱えている大きな問題の一つは、急速な社会の高齢化です。この傾向は今後も続き、2025年には人口の約30%が65歳以上の高齢者になり、そのうち5人に1人が認知症になると考えられています。このような状況で、重要視されている仕事が介護職です。

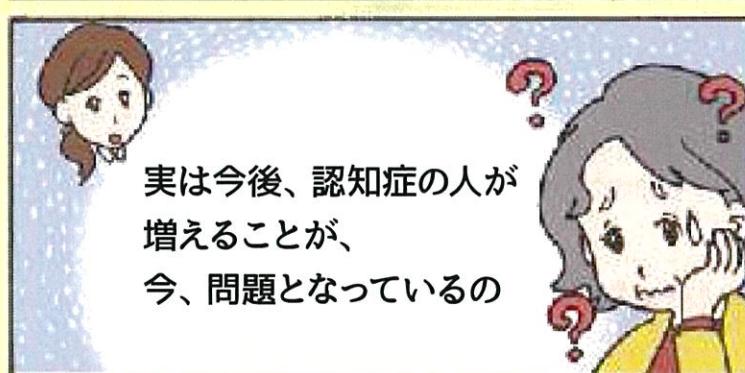
本書では、認知症とはなにか？ 介護職はどのような仕事か？ をマンガをはじめてわかりやすく解説しています。

介護職や認知症のことを知っている人も知らない人も本書を読んでいただき、進路のヒント、そして日本の明るい未来のためにできることを見つけてほしいと思います。



介護ってどんな仕事だろう？

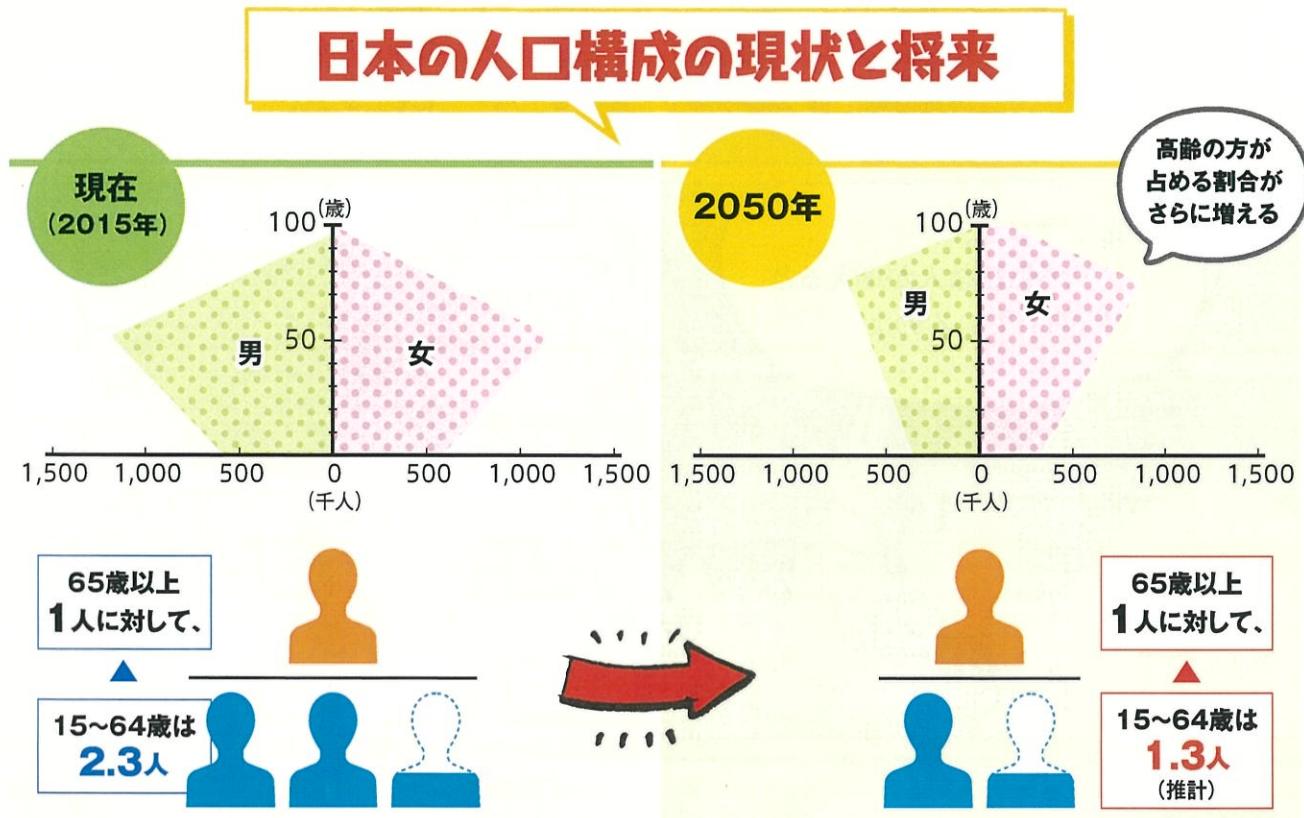






超高齢社会化 が進む日本

日本は現在、超高齢社会を迎えています。超高齢社会とは、高齢者の人口が若者などの人口よりもずっと多い社会をいいます。超高齢社会になると、認知症など、日常的なケアを必要とする高齢者が増加することが問題となっています。そこで、重要視されているのが介護職です。



(内閣府「平成27年版高齢社会白書」より)
日本の人口は少子化から減少の局面を迎えています。平均寿命は伸びているため、総人口における高齢者の割合がどんどん高くなっています。高齢者人口が増えることから、認知症の人の数も増えることが予想されています。

介護職の重要性が高まっています

超高齢社会化が進み、認知症の人など、ケアが必要な人が増えています。このような状況の中で、専門的なケアができる介護職の需要が高まっています。

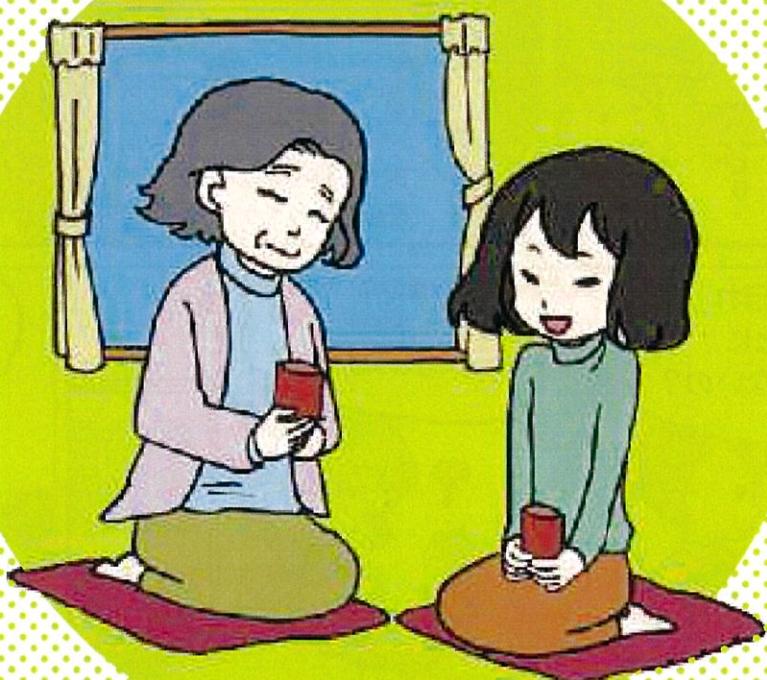


出典：厚生労働省「2025年に向けた介護人材にかかる需給推計（確定値）」

認知症の理解を 深めよう

この章では、認知症について解説しています。

認知症という病気について知って、
認知症の人の気持ちについてぜひ考えてみてください。



PART1

認知症の理解を
深めよう

認知症って何？





認知症は**脳の障害**により起きる

認知症は脳の障害により、これまで身につけてきた記憶や思考などの能力が徐々に低下し、普段の生活がしにくくなる状態です。だれでも高齢になると、もの忘れをするようになりますが、認知症では「忘れ方」が異なります。老化によるもの忘れは、体験の一部を一時的に忘れるのに対し、認知症のもの忘れでは体験全体が抜け落ち、時間や場所、人物の見当がつかなくなるなどの症状が進行していくのが特徴です。



主な認知症のタイプ別特徴

※このような症状が出ないこともあります。

アルツハイマー型 認知症

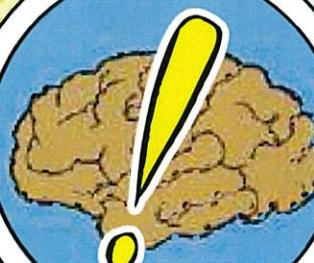
- 最近のことを忘れる
- 緩やかに進行する
- 嗅覚から衰え、悪臭に気がつかない
- 本人が楽観的であまり気にしない
- 作り話をすることがある

認知症全体の
67.6%

認知症全体の
19.5%

脳血管性 認知症

- 大きな脳血管障害が起こるたびに、段階的に進行する
- 気分が落ち込んだり、何かをしようとする意欲が下がる
- 悲しくないのに泣いたり、おかしくないのに笑ったりする
- 記憶障害は軽く、人格や判断力は保たれことが多い
- 脳血管障害の再発を防ぐことで進行を予防できる



- 人物や動物、昆虫など、はっきりとした幻覚や妄想を見る
- 手足が震える（パーキンソン症状）
- 歩行が小刻みになり、転倒しやすくなる
- 夜中に大声を出したり、バタバタすることがある

認知症全体の
4.3%

レビー小体型認知症

- 興味、関心が薄れると、会話中でも立ち去ってしまう
- 抑制が効かなくなり、社会ルールに違反することがある
- 交通事故などの危険性があり、早い段階から注意が必要
- 同じ行動をくり返す
- 50歳前後で発病することがある

認知症全体の
1.0%

前頭側頭型 認知症

※認知症の数字は、厚生労働科学研究「都市部における認知症有病率と認知症の生活機能障害への対応」より引用

PART1

認知症の理解を
深めよう

認知症になるとどうなる？



認知症にみられる 2つの症状

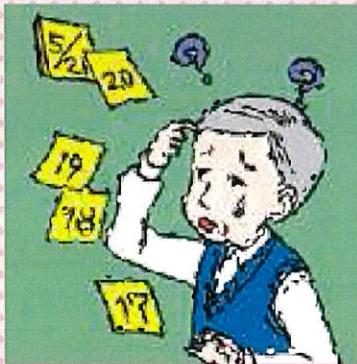
認知症は脳細胞が死ぬなどから脳の機能が衰えて起こる「中核症状」と、それに心の状態や性格、環境などの影響が加わって起こる「行動・心理症状」の2つの症状があります。「中核症状」はどの人にも、どの認知症のタイプにも、多かれ少なかれあらわれます。治療とケアで進行を遅らせることができます。

一方、「行動・心理症状」は「BPSD*」とも呼ばれ、中核症状に対する不安や焦り、周囲とのかかわり合いなどによって起きることのある症状です。治療や周囲の適切な接し方、よい環境の整備により発症を抑えられることもあります。

*BPSD……Behavioral and Psychological Symptoms of Dementia (認知症に伴う行動・心理症状)

中核症状と行動・心理症状 (BPSD)

脳の機能が衰えて
起こる症状



治療やケアなどによって
進行を緩やかにすることができる

記憶障害

ついさっきのことを忘れる

見当識障害

時間や場所、人物を
正しく認識できなくなる

失行

着替えなどが自力で
できなくなる

判断力の障害

考えるスピードが遅くなったり、
的確な判断ができなくなる

失語

ものの名前が出てこなくなる

実行機能障害

料理などができなくなる

中核症状

不安・焦り

身体不調

不適切な
対応

本人の性格

周りの
適切な対応で
改善できるかも！

接し方や、身体の不調・ストレスを
取り除くことで抑えられることも

妄想

徘徊

焦燥感

過食

不安

暴言・暴力

うつ状態

抵抗 など

興奮 など

心の状態や性格、
環境によって出る症状



行動・心理症状
(BPSD)



PART1

認知症の理解を
深めよう

認知症の人との接し方



認知症の人の **気持ち** を知ろう

認知症の人と接するには、認知症の人の気持ちや行動への理解が大切です。身に覚えのないもの忘れを何度も指摘されたり、今までできていたことを失敗したりします。認知症の人は、そのような自分の身の周りに起こる異変に不安を感じていることが多いようです。

認知症になると、このような不安を言葉や態度でうまく表現することができなくなり、さらに焦りやいら立ちを感じやすくなってしまいます。こんなとき、あなただったら周囲の人々にどのように接してもらいたいでしょうか。認知症のケアの基本は「認知症の人の気持ちになって考える」ことです。



本人中心 の接し方が大切です

認知症になっても、古い記憶は残っていて、感情などは豊かです。子ども扱いされたり、頭ごなしに怒られたりするのは、本人にとって大きなストレスとなります。

本人が何を求めているかを考え、言葉だけでなく、表情やスキンシップなどの働きかけも大事にしましょう。

● 本人に近づいて相手の視野に入ってから、目を見て話しかけましょう

● 笑顔でおだやかな表情で話しましょう

● 伝わるように、わかりやすく、ゆっくりと話しましょう

● 一度に多くのことを話すと混乱するので、1つずつ話しましょう

● 言葉がすぐに出てこないので、一呼吸待つ気持ちで聞きましょう

● よくわからないことを話していても、うなずきや相づちで、受け入れようとしている姿勢をあらわしましょう

● 自尊心を傷つけない。子ども扱いしないようにしましょう

● ありえないような話でも即座に否定しないようにしましょう

● 何かするときは、言葉をかけながら行いましょう

否定しないで、
できるだけ
肯定の気持ちを
あらわしましょう



PART1

認知症の理解を
深めよう

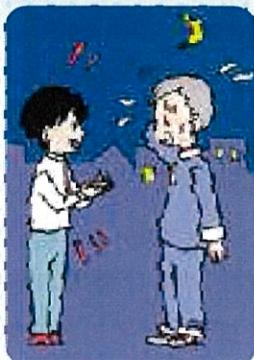
あなたができる支援



積極的に 手助け を

あなたの暮らす町で、認知症と思われる人が困っている様子を見かけたら、積極的に手助けをしてあげましょう。認知症の人は、すぐに言葉が出てこないので、やさしく声をかけ、ゆっくり待ちましょう。近くの大人にも協力を求めてください。認知症の特徴を理解して、適切な対応ができれば、認知症の人も安心できます。

こんな場面を見かけたら

徘徊	スーパーのレジで手間取っている	駅の券売機の前で戸惑っている
 <p>ゆっくりとわかりやすい言葉で話しかけましょう。うまく引き止められない場合は近くの大人に協力を求めましょう。</p>	 <p>時間がかかりそうであっても、せかさないようにゆっくりと待ってあげるようしましょう。</p>	 <p>認知症の人の目的を聞き、券売機の操作などは手伝ってあげましょう。対応できないようであれば駅の係員を呼びましょう。</p>

やってはいけないこと



PART1 認知症の理解を深めよう

で知っておいてほしいこと

その1

認知症は普通のもの忘れとは異なります

認知症は、病気や脳の障害によって記憶力や判断力が低下して、生活しにくくなる状態をいいます。高齢になるともの忘れが増えますが、認知症の場合は体験そのものを忘れてしまうので、トラブルになりやすいのです。

時間や場所、人物の見当がつかなくなるなど、認知症の人は困難な状況の中で生活しています。認知症の人がどのような世界で生活しているか想像してみてください。

その2

認知症の人と接するときは肯定の気持ちで接することが大事です

認知症の人は不安や孤独などを感じ、大きなストレスを抱えています。そんなときに自分の失敗を怒られたり、しかられたりすると、どうすればいいかわからなくなり、認知症の症状もひどくなることがあります。

否定するより、できるだけ肯定の気持ちをあらわし、笑顔で接しましょう。そのような心がけによって認知症の人が安心して生活できるようになります。

その2

認知症の症状は治療や周りの適切なサポートによって抑えられることもあります

認知症の症状には脳の機能が衰えて起こる「中核症状」と、心の状態や環境などの影響で起きる「行動・心理症状」の2つがあります。

「中核症状」は治療によって、「行動・心理症状」は主に周りの人の適切な対応やよい環境の整備などによって症状や進行を抑えられることもあります。周囲の適切なサポートが大切です。



この章のキーワード

KEYWORDS

- アルツハイマー型認知症
- 中核症状
- 脳血管性認知症
- 行動・心理症状
- レバー小体型認知症
- 本人主体
- 前頭側頭型認知症
- 徒行



介護の仕事を 知ろう

この章では、介護職の仕事内容について解説しています。
介護の現場の人がどのような仕事をしているかを学ぶことで、
介護職の重要性を知ってください。



PART2

介護の仕事を
知ろう

介護の仕事ってどんなもの？

1人暮らしや
高齢者世帯の認知症の
人ってどうやって
生活しているの？

介護サービスを
受けることで、
ある程度自立した
生活を送る
こともできるのよ

介護サービスというのは
施設や自宅などで

お年寄りの
お世話をする
仕事よ

具体的に
こんなことよ！

かいじょ 食事の介助



入浴の介助



着替えの介助



レクリエーション

生活などの
いろんなことを
助けてくれるんだね…！

家族がいる人も
受けることが
できるの？

もちろん！

介護を受ける
本人はもちろん、

その家族も助かるから
とてもやりがいのある
仕事よ！

近年、
日本は超高齢社会化が
進んでいて
介護職の需要が
高まっているのよ！

介護職は
将来的にも
必要とされる
仕事なんだね！

主な介護の仕事内容

介護の仕事にはさまざまな種類があります。食事を介助したり、買い物や洗濯などの生活の援助をしたりと、日々の生活に密着した介護が必要とされます。



食事の介助

相談や助言



ひとりではうまく食事ができない高齢者のために食事のサポートを行います。食事介助では、摂食介助だけを行うのではなく、利用者の食前・食事・食後の食事環境全般をサポートします。

高齢者やその家族に対しての助言や、介護に関する相談などを受けつけます。高齢者やその家族からは非常に多くの心配や不安・悩みが寄せられます。それらに親身に向き合い、解決していくことがよりよい介護につながります。



生活の援助



生活援助とは、高齢者本人や家族が家事を行うことが難しい場合、訪問介護スタッフが利用者のもとへ行き、掃除、洗濯、買い物の手伝いなど、日常生活のサポートをすることです。

入浴の介助



入浴の介助とは、自力で入浴することが難しい高齢者に対して、入浴のサポートを行うことです。身体を清潔にするのはもちろん、精神的・肉体的な苦痛や緊張を緩和させることも目的にしています。

PART2

介護の仕事を 知ろう

介護の仕事を のぞいてみよう①



主な介護サービス

入所型



介護老人福祉施設(特別養護老人ホーム)

常時介護が必要な人(寝たきりや重度の認知症)に、入浴・排せつ・食事の介助、日常生活の世話、リハビリや健康管理を行います。



介護老人保健施設(老人保健施設)

退院後の在宅復帰を目指す人に、看護、医学的管理下での介護、リハビリ、日常生活の世話をします。

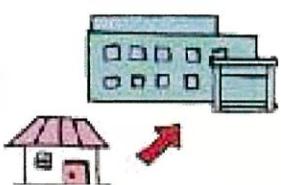
介護療養型医療施設

病床をもつ病院または診療所の介護保険適用部分に入院している人に、療養上の管理、看護、医学的管理下での介護、リハビリを行います。※2018年3月末の廃止が予定されています。

ショートステイ

利用者が一定期間(約2週間)をめどに宿泊し、医療上のケアを含む介護を受けることができる施設です。

通所型

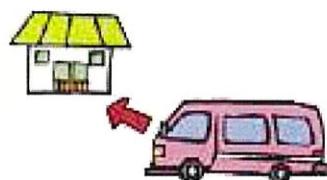


デイサービス

日中、送迎により通所介護施設に通い、入浴、食事の介助やレクリエーションなどを通じた機能訓練を受けます。地域によっては認知症対応型の通所介護もあります。介護者の休息にもなり、利用の多いサービスです。



訪問型



訪問介護

ホームヘルパーが居宅を訪問して、排せつ、食事、入浴などの身体介護や、掃除、洗濯、調理などの日常生活の援助を行います。日常生活に支障が出てくる認知症の人にとって、もっとも基本となるサービスといえます。夜間対応の訪問介護を提供しているところもあります。

訪問入浴介護

入浴車で居宅を訪問し、3人1チームで入浴の介護を行います。



PART2

介護の仕事を
知ろう

介護の仕事を のぞいてみよう②



介護職員の1日の例

入所型

日勤 8:00 出勤

- 8:00 朝礼、申し送り*
- 9:00 排せつ・入浴介助、部屋の清掃など
- 11:00 昼食準備・食事の介助
- 13:00 昼休み
- 14:00 レクリエーション
- 15:00 おやつ
- 16:00 施設内の見回り、介護記録などの事務作業
- 17:00 夕食準備、食事の介助

18:00 退勤

*申し送りとは…

前の勤務者が次の勤務者に
利用者の状態や予定を伝えること

夜勤 16:00 出勤

- 16:00 申し送り
- 17:00 夕食準備、食事の介助
- 18:00 口腔ケアの介助
- 19:00 排せつ介助など
- 20:00 着替え、ベッドへの移動など、就寝の介助
- 21:00 施設内の見回り、介護記録などの事務作業、呼び出しの対応、排せつ介助など
- 0:00～02:00 休憩
- 6:00 ベッドを起こすなど、起床の介助
- 7:00 朝食準備、食事の介助
- 8:00 申し送り

9:00 退勤

通所型

8:00 出勤

- 8:00 朝礼、職員による送迎
- 9:00 健康チェック(検温、血压測定、検脈)、排せつ介助など
- 10:00 理学療法士や作業療法士などによるリハビリ
- 11:00 昼食の準備・食事の介助
- 13:00 昼休み
- 14:00 入浴介助
- 15:00 おやつ、レクリエーション、排せつ介助など
- 16:00 帰宅準備介助・送迎
- 17:00 介護記録などの事務作業

18:00 退勤

訪問型

8:00 出勤

- 8:00 朝礼、訪問の準備
- 9:00 寝室の掃除、着替え、洗濯の介助など
- 11:00 昼食の準備・食事の介助
- 13:00 休憩
- 14:00 入浴介助、買い物手伝い、夕食準備・食事の介助
- 17:00 帰社、介護記録などの事務処理

18:00 退勤

栄養バランスや好みを考えながら調理します。

夕食に必要な食材や生活必需品の買い出しを手伝います。薬の受け取りを代行することもあります。

PART2

介護の仕事を
知ろう

介護の現場で 働いている人に聞いてみよう



介護経験2年の宮川さんに聞きました

訪問介護事業所で介護福祉士として働いている宮川翠さんに、日々のお仕事の内容や、やりがいなどをうかがいました。

利用者さんが
笑顔になってくださると、
それだけでうれしいです！



介護職に興味をもったきっかけは？

小さいころ、共働きの親にかわってわたしの面倒をみてくれた祖母が、曾祖母の介護をするようになり、それを近くてみていたことがきっかけです。

曾祖母が胃ろう（胃に直接栄養を入れられるように器具をとりつける手術）をしてから、医療や専門分野の知識が必要と感じ、福祉系の学部のある大学へ進学しました。

どのような仕事をしていますか？

訪問介護をしています。おもな仕事内容は「身体介護」と「生活援助」にわけられます。「身体介護」は入浴、排せつ、食事、着替えのお手伝いなど、「生活援助」は調理、掃除、洗濯、買い物などを行います。利用者さんごとに作られた計画に基づいてサービスをしています。

ある1日の仕事の流れ

9:00～9:30 排せつ介助

11:00～11:30 服薬介助

12:30～13:30 排せつ介助、調理

14:30～15:00 水分補給、見守り

15:30～18:00 入浴介助、服薬介助

訪問のあいまに書類を作るなどの事務作業をしたり、休憩をとります。事業所の月間目標を決めるなど、サービスの品質向上について話し合うことも大切な業務です。



どのようなときに やりがいを感じますか？

直接、「ありがとう」「助かった」という言葉をもらえたときは、やっていてよかったなと思います。利用者さんだけでなく、ご家族からも感謝していただけると、励みになりますね。

また、訪問したときに不安そうな顔をされていた方が、サービスを終えたときに笑顔になっていてくださると、うれしくなりますね。

大変だと感じるのはどのようなときですか？

自分自身の体調がよくないときや、落ち込んでいるときでも、仕事の質は下げられません。自分がマイナスの感情でいると、相手もひっぱられてよくない雰囲気になるので、自分はいつもプラスの感情でいるようにしています。わたしたちは1日に何人もの人に会いますが、利用者さんにとってわたしは、その日唯一会話をする相手かもしれない。サービスを終えてお宅を出るときは、利用者が笑顔になっていてほしいと思っています。



今後のキャリアアップについて、どのような考えをもっていますか？

いまはこの職場でしっかり学んで、基礎を作りたいと思っています。1年目は現場に慣れるように、2年目の今年は事業所での仕事に力を入れて、業務内容を理解するように努めました。来年からは、会社全体について考えて貢献できるようになりたいです。

将来的にも、この経験を基盤にして在宅介護にかかわっていきたいと思っています。

認知症のかたの介護でうれしかったエピソードは？

新しいことを覚えるのが苦手な認知症の方が、名前を覚えてくださったり、顔をみて「あなたね」とわかつてくださると、うれしいです。

逆に、部屋で掃除をしていたら、「いつ入ったの？」、「勝手になにをしてるの？」といわれるようなこともあります。長期間、記憶を維持できないからなんですね。そんなときは「さっきからいましたよ」とやさしくお伝えします。

認知症の方のなかには「どんどん忘れていく」ことと不安を口にする人もいます。少しでも不安な気持ちをやわらげて、生活を支えていければと思います。

経験豊かな介護士のかたにも聞いてみよう！

Q 介護の仕事を目指したきっかけはなんですか？



家族の中に寝たきりで介護をしてもらっている人がいたため興味をもち、当時高校生だったので進路に介護系の学部を選びました。

行田さん・介護経験6年
デイサービス管理者

Q 将来の夢は？



理学療法士の資格をとって、在宅でリハビリをとりいれたケアができるようになります。

古木さん・介護経験16年
サービス提供責任者

Q 介護の仕事を長く続けるコツは？



悩みを一人で抱え込まないこと。相談すれば解決できることがよくあります。

新通さん・介護経験17年
ケアマネジャー

Q 介護でうれしかったことはありますか？



ケアプランやサービスと、利用者さんの要望がうまく合致して、みんなが同じ目標に向かったときは、よかったなと思います。

武者さん・介護経験19年
ケアマネジャー

介護職を目指す方へ 介護福祉士等修学資金貸付制度

介護職を目指す学生の修学支援と就労のために介護福祉士等養成施設の学生に、無利子の修学資金が貸与される制度があります。

卒業後、介護の仕事に5年間、継続して従事すると、返還が免除されます。

学費 5万円（月額）

入学準備金 20万円（初回に限る）

就職準備金 20万円（最終回に限る）

国家試験受験対策費用 4万円（年額。国家試験の受験をする見込みがある人に限る）

生活費加算 4万2,000円程度（月額。生活保護受給者およびこれに準ずる経済状況の人に限る）

平成28年現在

PART2 介護の仕事を知ろう

で知っておいてほしいこと

その1

介護の仕事は 日々の生活に密着しています

介護の仕事は施設や利用者の自宅などでケアをする仕事です。食事や入浴の介助、生活の援助など、生活に密着した介護サービスを提供します。

認知症の高齢者も介護サービスを受けることで、ある程度自立した生活を送ることができ、本人はもちろんのこと、その家族にとっても助けになります。介護職は、超高齢社会化が進む日本において、将来的にも必要とされている仕事です。

その2

状況に合わせて選べる 介護サービス

介護サービスには主に施設などに入る「入所型」と、利用者が自宅などに住んだまま利用する「通所型」「訪問型」の3種類があります。また、この3種類の中でもさまざまな形式のサービスがあり、本人や家族の状況に合わせて選択することができます。このような多様なサービスを状況に合わせて受けることで、本人だけでなく家族の支えとなります。

その3

自分に合った働き方を 選べます

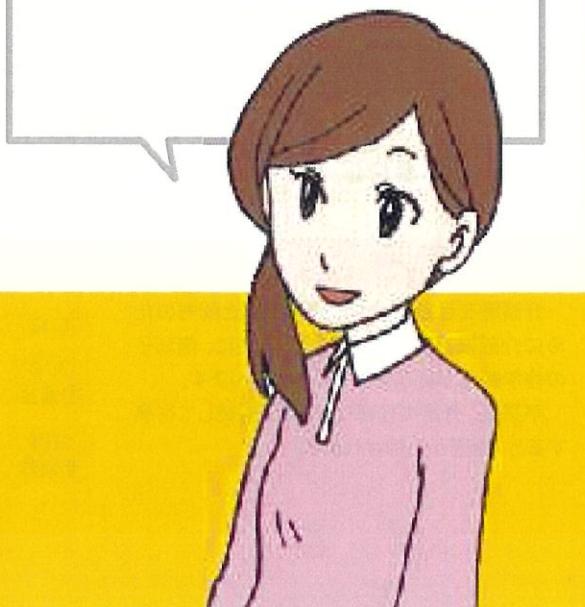
介護の仕事は職場によって働き方が異なります。例えば、「入所型」は施設内で24時間交代制。「通所型」の施設で働く場合は施設内で朝から夜までの勤務。「訪問型」は高齢者の自宅に行きサービスを行います。さまざまな選択肢があり、自分が働きやすい環境を選ぶことができます。



この章のキーワード

KEYWORDS

- 介護サービス
- 入所型介護施設
- 通所型介護施設
- 訪問型介護
- 介護老人福祉施設
- 介護老人保健施設
- ショートステイ
- デイサービス
- 訪問介護

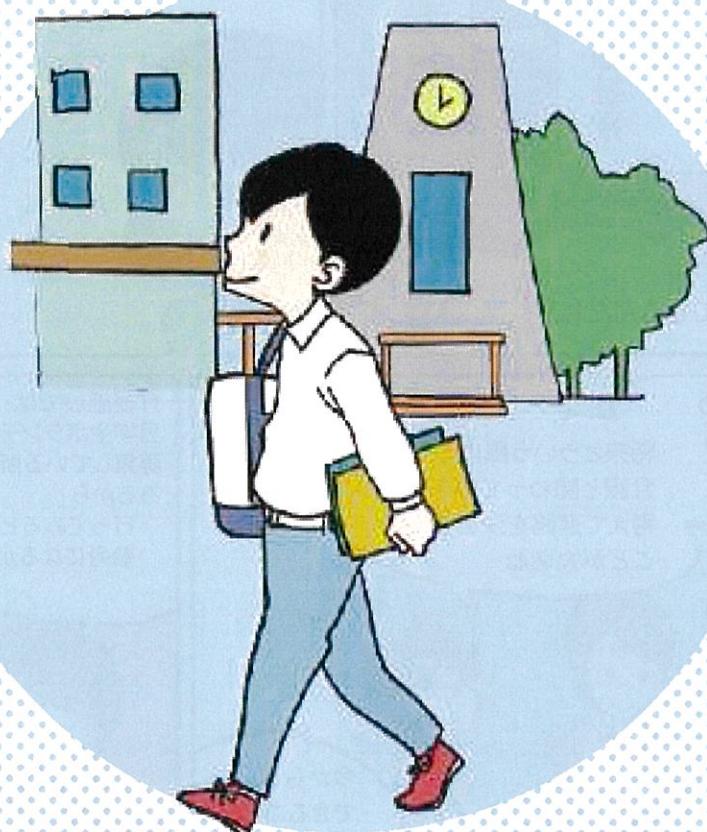


PART
3

介護の仕事に 就くには

この章では、介護の仕事につく道筋を紹介しています。

キャリアアップや資格について学んで、
進路選びに役立ててください。



PART3

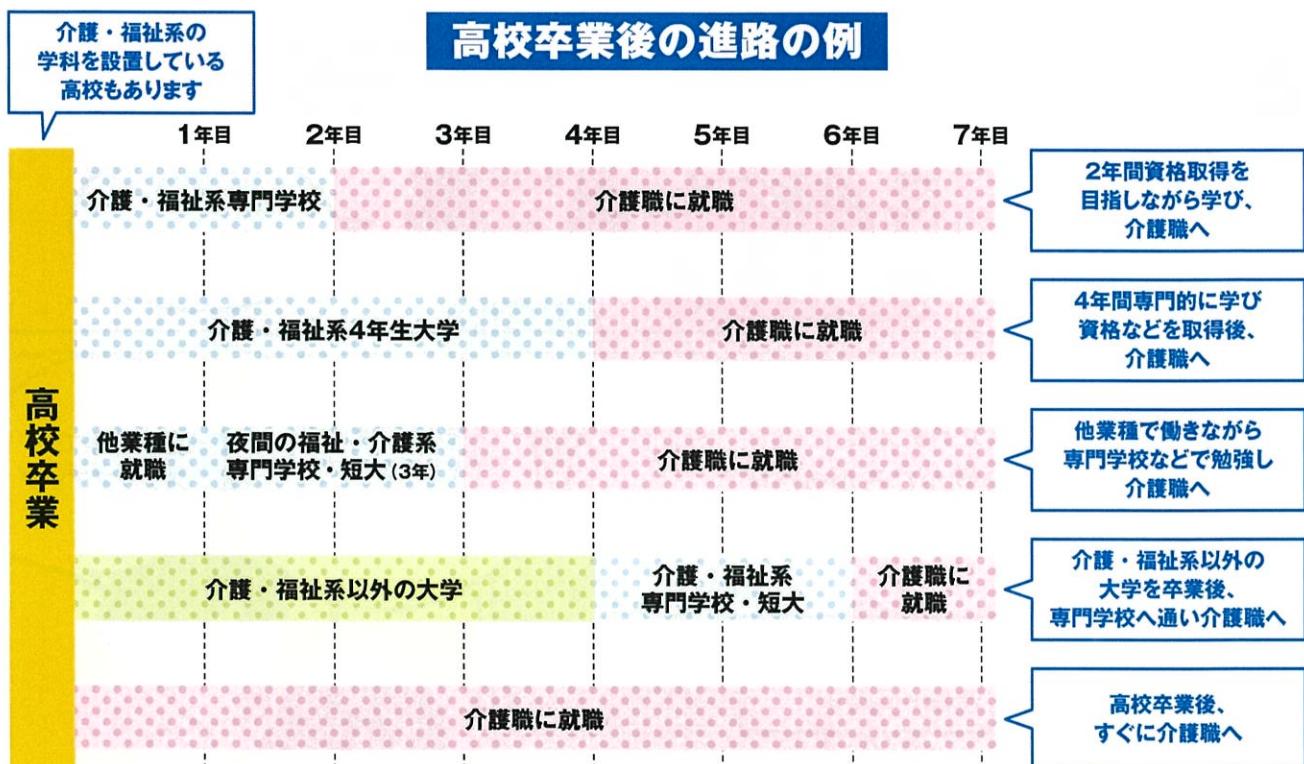
介護の仕事に
就くには

介護の仕事に就くには どうするの？



介護職の進路 ナビゲーション

介護職への就職を検討する際には、まず自分にあった進路を考えることが大切です。専門知識を身につけてから就職したいのであれば介護・福祉系の専門学校や大学に進学し、卒業後、介護施設などへ就職する道があります。また、介護の現場で経験をつみながら技術や知識を身につけたいのであれば、高校卒業後すぐに介護施設へ就職することも可能です。他にも介護・福祉系以外の大学卒業後に就職することも、他業種からの転職も可能です。親や先生などと話し合いながら、自分が将来どのように介護と関わっていき、どのような活躍をしたいか、しっかりと考えましょう。



今からできる介護のこと

介護施設のボランティアや専門学校などの学校見学に積極的に参加してみましょう。参加することで介護職へのイメージが変わったり、新たな発見に役立ちます。



介護ボランティアを募集している施設はたくさんあります。実際に介護の仕事を体験することで、詳しい仕事の内容や介護の大切さがわかるかもしれません。



専門学校や大学の学校見学に参加することで、どんな知識が学べるかがわかり、自分の将来設計に役立ちます。

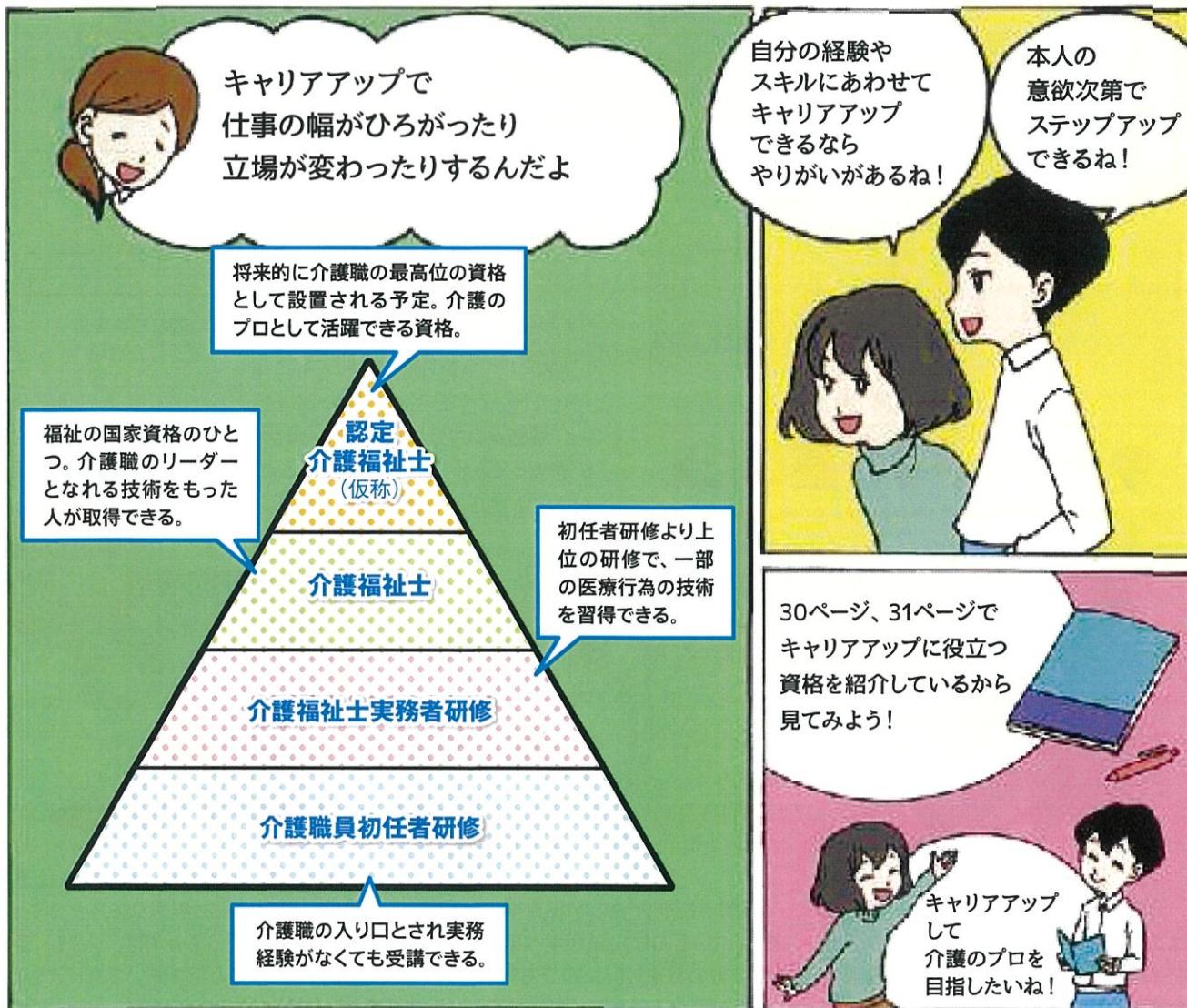


介護職は人と接することの多い仕事なので、普段からお年寄りの方とコミュニケーションをとってみては。やさしく声をかけ、ゆっくりと話を聞いてあげましょう。

PART3

介護の仕事に
就くには

介護職でのキャリアアップ





介護のプロになるために

介護職は働きながら技術や知識を身につけ、キャリアアップできる職種です。経験年数に応じて取得できる資格もあり、本人の意欲次第で仕事の幅がひろがるなど、ステップアップの道筋が明確です。働きながら技術を身につけ、介護のプロを目指すことで、やりがいを感じられます。

キャリアアップのための研修や資格の例

介護職員初任者研修

実務経験がなくても受けられるので介護の入り口とされ、初めて介護を学ぶ人が取得しておくべき基本の研修です。入浴、排せつ、食事などの介助や洗濯、掃除などの日常生活の支援に関するスキルを身につけられます。



介護福祉士実務者研修

より質の高い介護サービスを提供するために、実践的な知識と技術の習得を目的としている研修です。「たん吸引」や「経管栄養」などの一部の医療行為や介護職員として働くうえで必要な認知症について学ぶことができ、介護の専門家としてのスキルを磨くことができます。



介護福祉士

介護が必要な人への介助、助言、生活支援を福祉の専門知識と医学的な介護技術をもって行うほか、家族への指導、サービス計画の作成、介護ヘルパーへの指導なども行う介護現場のリーダーとなるための国家資格です。



介護の仕事のステップアップの例

経験年数や資格取得に応じて、仕事の幅、質が変わっていきます。常に意欲を保つことができる環境です。

ステップ1 介護の現場で 基本を 身につける

- 「介護職員初任者研修」を受講し、介護の基本的な技術・知識を身につける
- 上司の一定の指示のもと、ある程度の仕事ができる
- 利用者のニーズや状況の変化を把握・判断し、それに応じた介護を実践



ステップ2 現場の リーダー

- 「介護福祉士実務者研修」を受講し、より質の高い技術・知識を身につける
- 指示がなくても、一人前の仕事ができる
- 他職種との連携をとるための幅広い領域の技術・知識を身につけて、的確に実行できる

ステップ3 現場全体 の運営

- 「介護福祉士」の資格を取得し、高度な専門性をもつ
- 多様な生活障害をもつ利用者に質の高い介護を実践
- 介護技術の指導や他職種との連携のキーパーソンに



介護の仕事で 活用できる資格の例



資格 を取れば **仕事の幅** がひろがります

介護の仕事は、資格をもっていなくても始められますが、資格があると就職やキャリアアップに有利になることがあります。また、介護の現場はさまざまな場面があり、資格を取ることにより仕事の幅がひろがるだけでなく、仕事内容や役割が高度になり、質の高いサービスを提供できるようになります。次の資格リストを参考にして、進路を明確にしていきましょう。

介護支援専門員

相談職員

介護職員

国家資格

★ 介護福祉士 ★



身体の介護や生活の援助などを行う介護福祉の専門職です。日常生活を営むのに困難があり、支援が必要な高齢者や障害者に介護サービスを提供します。また、家族など周囲の介護者に対しては介護に関する相談を受けたり、アドバイスを行います。

★ 社会福祉士 ★



相談援助の専門職です。職場によって職名が異なり、福祉施設では生活相談員や指導員、福祉事務所ではケースワーカー、地域包括支援センターでは職員として働いています。日常生活を営むのに困難のある人に対して、福祉や医療の相談に応じます。

★ 精神保健福祉士 ★



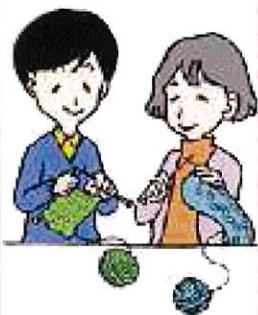
PSW (Psychiatric Social Worker)とも呼ばれます。精神保健の専門家として、精神障害の医療を受けている人に対して、相談に応じたり、アドバイスや教育、訓練などを行います。

★ 理学療法士 ★



リハビリテーションの専門職です。PT (Physical Therapist)とも呼ばれます。立つ・座る・歩くなどの基本動作を行う能力の回復や機能の維持、悪化予防を目的に運動療法や物理療法を行い、利用者が自立した生活を送れるように支援します。

★ 作業療法士 ★



リハビリテーションの専門職です。OT (Occupational Therapist)とも呼ばれます。

日常生活を送る上で必要な能力を回復・改善することを目的に作業療法を行います。具体的には、おもに手工芸や園芸、調理、レクリエーションなどの作業活動を通して治療などの支援をします。

★ 言語聴覚士 ★



リハビリテーションの専門職です。ST (Speech-Language-Hearing-Therapist)とも呼ばれます。

言葉や発声、聴覚の障害がある人に、その機能の回復や維持のために、訓練や必要な検査などの支援をします。また加齢により飲み込む能力が衰えた人に、機能回復・維持の訓練を行います。

★ 管理栄養士 ★



療養や健康の保持増進のための栄養指導などの支援をします。また施設などの特定多数の利用者のために給食の献立作成や栄養管理などを行います。

その他(公的資格など)

★ 介護支援専門員 ★ (ケアマネジャー)



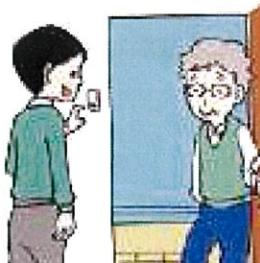
介護支援サービスを行う専門職です。利用者のためのケアプランを作成し、介護事業者などから適切なサービスを受けられるように支援したり、きちんとサービスが行われているかなどのチェックも行います。福祉や保健医療の分野で一定期間以上実務経験がある人が取得できます。

★ 生活相談員 公的資格 ★



特別養護老人ホームや通所介護事業所などにおいて、サービスの利用希望者に施設で受け入れられるかのチェックを行ったり、利用者や家族の相談や支援を始め、事業所全体のマネジメントや管理など、さまざまな活動を行います。生活相談員は資格の名称ではなく、職種の名前ですが、なるには社会福祉士などの資格が必要です。

★ 訪問介護員 ★



介護保険法に位置づけられた訪問介護サービスを行う人で、ホームヘルパーとも呼ばれます。講習を受けた人に与えられる認定で、都道府県知事の指定する「介護職員初任者研修」もしくは「介護福祉士実務者研修」の課程を修了すると資格が与えられます。

★『介護支援専門員基本テキスト』(長寿社会開発センター刊)などをもとに作成しています。

PART3 介護の仕事につくには

で知っておいてほしいこと

その1

将来、どのように 介護と関わりたいか考えよう

「介護職」といってもさまざまな進路があります。専門的に福祉について学びたければ大学や専門学校へ、早く現場に行きたければ高校卒業後すぐに介護職の道へ入り、介護の現場で経験をつみながら技術や知識を身につけることもできます。介護施設のボランティアや福祉系の学校見学に参加すると具体的なイメージができるかもしれません。やりたいことをしっかりとと考え、自分に合った進路を見つけましょう。

その2

資格を取れば 仕事の幅がひろがります

学生時代、また働きながら、自分に向いている資格を取れば、就職やキャリアアップに役立ちます。また、資格を取ることにより、仕事内容や役割がより高度になり、質の高いサービスを提供できるようになります。資格取得という目標をもっていれば、日々の仕事に意欲がわきます。

その3

介護職はキャリアアップ できる仕事です

介護職は自分の経験やスキルに合わせてキャリアアップできる仕事なのでやりがいがあります。例えば、実務経験がなくても受けられる「介護職員初任者研修」では介護の基本を学ぶことができます。研修を受けたり資格を取るなど、本人の意欲次第で、より質の高い介護サービスを提供できる介護のプロへと成長できます。



この章のキーワード

KEYWORDS

- キャリアアップ
- 介護職員初任者研修
- 介護福祉士実務者研修
- 介護福祉士
- 国家資格
- 公的資格
- 介護支援専門員
(ケアマネジャー)



福岡県医師会から みなさんへのメッセージ

高齢者や認知症の人が安心して暮らせる社会とはどのようなものでしょうか？

現在、日本人の4人に1人が高齢者です。高齢者の割合はさらに増え、それにともない認知症の人も増えると予想されています。そのような状況の中で、いかにして高齢者を社会で支えるかが問題となってきています。

この問題は、みなさんにとっても身近なものです。みなさんの家族や住んでいる地域にもサポートを必要としている人がいます。そのような人々に優しく手をさしのべ、支えあうことで、みんなが安心して暮らせる社会を築くことができます。

みなさんが、高齢者や認知症の人をサポートするためには、まず、認知症について知る必要があります。知ることで、相手の気持ちになって行動できるのです。

そして、日本の未来、みなさんの未来についても考えてみましょう。この冊子が、みなさんが認知症について関心をもったり、将来を考えるきっかけとなれば幸いです。



この冊子は電子書籍で見ることができます。

福岡県認知症対応啓発

検索



発行 平成28年3月 公益社団法人 福岡県医師会